

福祉



熊野市社協



くまの

特集

災害とボランティア



～飛鳥町小阪にて～

No. 65

平成28年7月5日発行

熊野市社会福祉協議会の事業には、赤い羽根共同募金配分金を活用させていただいております。



災害とボランティア

●熊本・大分を襲った大震災

4月14、16日と熊本県熊本地方を震源とする震度7の大地震が発生。一連の地震活動で震度7の揺れが二回観測されるのは、日本で地震観測が始まった明治18年以降、初のケースでした。この地震により49名の尊い命が奪われ、また、20名は震災関連死が疑われています。

熊本では、今も多くの住民が甚大な被害

により避難生活を余儀なくされていますが、全国各地から駆け付けるボランティアの支援等により、少しずつ復旧・復興が進んでいません。



「熊本地震」被災地の様子（三重県社協提供）

●広がるボランティアの輪

平成7年に発生した「阪神・淡路大震災」では、全国から被害を知った人々が「何かしなければ」との思いから、ボランティア活動を行うため被災地に集まりました。それ以降、多くのボランティアが被災地支援に携わりました。平成16年の「新潟県中越地震」では、地元のみならず、社会福祉協議会が中心となって災害ボランティアセンターが設置・運営され、被災地の支援体制整備と被災地域へのボランティアによる支援が円滑に進められるようになりました。

平成23年の「東日本大震災」では、全国196か所に災害ボランティアセンターが設置される等、県域を越えた広域でのボランティア活動支援が行われました。また、日本全国の社協では、全国のネットワークを活かして、被災地の災害ボランティアセンターの運営支援の為、職員の派遣等の支援に組み込みました。

ボランティア活動者数

【熊本地震】

75,720名
(平成28年6月2日現在 熊本県社会福祉協議会速報値より)

【東日本大震災】

1,481,400名
(平成28年2月29日現在 岩手・宮城・福島県の延べ人数 全国社会福祉協議会より)

今も多くのボランティアが活躍しています！



熊本市災害ボランティアセンターの様子（三重県社協提供）

●熊野市でも

熊野市においても、紀伊半島豪雨災害（平成23年）が発生した際、災害ボランティアセンター本部と共に、有馬・飛鳥・紀和地区の三か所にサテライトを設置しました。

全国から支援に駆け付けたボランティア約2,500名を受け入れ、被災した住民のニーズを聞き取り、ボランティアとマッチングさせながら、一刻も早い復旧への取り組みを行いました。



熊野市災害ボランティアセンター入鹿サテライト
(平成23年10月2日撮影)

●災害に備えて

その経験で実感した内容を踏まえ、現在は「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」を策定中です。今後発生が予測される大地震や風水害等の大規模災害発生時には、「災害ボランティアセンター」の立ち上げ、スムーズなボランティア活動支援や被災地域の復旧・復興に役立っていききたいと強く思っています。

また、社協が災害ボランティアセンターを設置するにあたっては、ボランティアの力はもちろん、各地域が持つ「強み」を十分に活かしていくことが非常に重要になります。地域を一番よく知る地元住民の方々の知恵や力をお借りしながら、厚みのある支援活動に向けて取り組んでいきたいと考えています。



紀伊半島豪雨時の保健福祉センター付近

●災害ボランティアしたい！その前に…

必ず現地を設置されている災害ボランティアセンターに事前に連絡し、ボランティア活動への参加方法や注意点について確認してください（直接電話をかけるか現地の負担を増やす可能性も考えられるため、公式のホームページやFacebook、Twitter等のSNSで確認されることをおすすめします）。また、ボランティア活動中の事故やケガに備え、被災地に行く前に、ボランティア活動保険に加入してください。

不明な点は当会にご連絡下さい。

◎用語の知識

【災害ボランティアセンター】 発災時、被災地でのボランティア活動を円滑に進められるよう、被災者の支援ニーズの把握・調整とともにボランティアを受け入れ、支援ニーズとのマッチングを行う拠点。災害VC、災害ボラセンと略されることも。

【サテライト】 災害ボラセン本部から被災地が離れている場合には、被災地に近い場所にサテライトが設置される場合がある。

【ニーズ】 ここでは、被災者の支援の需要のことを指す。（例）床下の泥出し、被災者のお話相手等

【マッチング】 被災者のニーズとボランティアの希望（供給）を合致させる作業のこと。



報告

平成28年度
介護教室～たべる、たのしみ～
を開催しました!

6月12日(日)、食べることが楽しくなる介護食について学び、実際に介護されている家族やボランティア等の負担軽減を図ることを目的に、宮川福祉施設組合 特別養護老人ホームやまびこ荘の管理栄養士 原田新吾さんを講師にお招きし、「介護教室～たべる、たのしみ～」を開催しました。

講義では、気をつけるべき食材やおすすめの食材、調理方法はもちろん、食事をする環境を整えることや相手の立場に立った食事介助の大切さをお話いただきました。

その後、調理実習と試食を行い、参加者の皆さんからは、「子ども向けにも使える」、「料理は楽しく作ることが大切」、「さっそく取り入れたい!」と好評のうちに終わることができました。



①講義



②調理実習



③完成

募集

三重から熊野から、被災地で活動する三重県民を応援
ボランティア活動支援金にご協力を!



熊本市災害VCの様子(三重県社協提供)

熊本地震で被害を受けた、熊本・大分の方々を支援する為、三重からも多くの方が被災地でボランティア活動を行っています。そうした方々を応援する為、みえ災害ボランティア支援センターでは、支援金を募集しています!

*活動支援金口座 百五銀行津駅前支店(支店コード`502)普通909113

*口座名義 みえ災害ボランティア支援センター センター長 やまもと やすし 山本康史

*受付期間 平成28年8月31日まで

*支援金の使途 熊本・大分地震支援災害ボランティア活動交通費等助成事業で活用されます

※みえ災害ボランティアセンターは、三重県をはじめ三重県社協、みえ防災市民会議等が官民協働で運営しています。

『熊本地震のボランティア』

地震発生から2か月が経とうとしている熊本。被災地では、仮設住宅等への入居により、少しずつ日常生活を取り戻しています。これからも段階に合わせた息の長いボランティア活動・支援が求められます。



熊野市ボランティアセンター
(熊野市社会福祉協議会内)

住所:熊野市井戸町1150番地

担当:桑原 涼

電話:0597-89-5000

FAX:0597-89-3068

メール:r.kuwabara@k-shakyo.com

地区社協会長交代 新地区会長あいさつ



育生地区社協会長
有木 保

この度、育生地区社協の重責である会長を担う事になりました、有木保です。宜しくお願いします。

育生町は高齢者の元気見守りと、相談を重点項目において活動をしています。この活動を続けて、育生町の人達がいつも笑って、安心して暮らせる街に成るように頑張っていきますので、宜しくお願いします。



久生屋地区社協会長
西 勝

この度、はからずも久生屋地区の会長をお引き受けする事になり、引き締まる思いであります。

人に対する思いやり、気配り、目配りを大事に高齢化の進むこの町の福祉向上に努力し、一人でも多くの皆さんから「この町に住んで良かった、幸せです」と言われるよう、皆様のご支援ご協力のもと頑張りますので、何卒、ご指導の程宜しくお願いします。



金山地区社協会長
岡本 憲明

このたび、金山地区社会福祉協議会会長をさせていただくことになりました。今まで地区役員として活動してまいりましたが、今回会長に就任し、責任の重大さに戸惑っております。

今後は、地域の皆さんや金山区の役員の方々の協力を得まして、微力ではございますが地域福祉の充実に努力してまいりたいと思っています。

祝ご長寿！満百歳事業

五月に久保千代子様（飛鳥町）を、六月に下和田初子様（五郷町）と森下おとり様（波田須町）をお尋ねし、満百歳のお祝いを行いました。



長寿の秘訣をお聞きすると、よく働き、良く食べることが挙げられました。お三方に共通して感じたことは、本人を取り巻くご家族がとても温かいこと。元気の源には、見えない家族のつながりも大きく関わっているように思いました。

今後の益々のご健康とご多幸をお祈りいたします。



平成 27 年度 資金収支計算書

単位 (円)

勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
事業活動による収入		事業活動による支出	
収入		支出	
会費収入	1,117,000	人件費支出	308,058,823
寄附金収入	5,738,865	事業費支出	25,848,461
経常経費補助金収入	28,657,114	事務費支出	54,393,343
受託金収入	27,337,795	貸付事業支出	40,000
貸付事業収入	115,000	分担金支出	25,000
事業収入	7,621,298	助成金支出	2,954,809
負担金収入	8,805,725	負担金支出	4,474,227
介護保険事業収入	269,057,599	その他の支出	198,511
障害福祉サービス等事業収入	32,963,730		
受取利息配当金収入	7,577		
その他の収入	3,131,680		
事業活動収入計	384,553,383	事業活動支出計	395,993,174
施設整備等による収入		施設整備等による支出	
収入	150,000	支出	4,360,040
その他の活動による収入		その他の活動による支出	
収入	106,893,810	支出	94,794,436
収入計	491,597,193	支出計	495,147,650
当期資金収支差額		▲ 3,550,457	

※事業・決算報告は社協HPからもご確認ください。

平成27年度は介護保険制度の改正に伴う給付費の減額や利用者の減少により、経営面で大きな痛手を被り、赤字決算となりました。一方、職員が一丸となって、経営対策について検討する中で、その経験により職員間でこれまで以上の連帯感が生まれ、組織の一員としての意識を高めることができ、社協の進むべき道筋が示された年でもありました。

平成27年度決算報告

7・8月の無料法律相談

◆開催日 7月19日(火)
8月16日(火)

◆相談員 片山 眞洋 弁護士

◆会場 熊野市保健福祉センター
1階 相談室

◆時間 13時から

◆相談内容 民事全般(相続、離婚、雇用など)

※相談は一人10分程度で予約順です。

※開催日前日の15時までには予約が必要です。

【担当：田坂英明】

現在、リサイクル登録はありません。今回のリサイクル登録制度の掲載は紙面の都合により休載させていただきます。

新規採用職員紹介



地域福祉係
坪田 愛子

6月から社会福祉協議会でお世話になっていきます。まだわからないことばかりのため皆さんに色々教えてもらっている毎日です。何かご迷惑をかけてしまうかもしれませんが早く仕事に慣れることができればよい頑張りますので、よろしくお願ひいたします。

まもなく開催！ 第11回社協ふれあいフェスタ

◆開催日 7月17日(日)

◆時間 10時～13時30分

◆会場 熊野市保健福祉センター

今年で11回目を迎える社協ふれあいフェスタ。テーマは「大好き！くまの」です！

私たちの住む熊野市のことを今よりもっと大好きになれるような、今よりもっと知ることができるよう企画やお店を福祉関係団体、ボランティアの皆さんと一緒にたくさんご用意しています。みなさんのご来場を、お待ちしております！



模擬店や体験コーナーがめじろ押し！
夏の始まりにお祭り騒ぎ！

数字の謎を解け！ ナンバープレイス

みんな応募ありがとう。簡単だったかな？難しかったかな？まだまだ出題するから僕が出す数字の問題に挑戦してね！右の空白に数字を埋めてA～Eのアルファベットが付いているマスの合計を答えるんだ。見事正解すれば景品を抽選で3名の方にプレゼント！たくさんのお応募を待ってるよー！！

※ナンバーのルール

- 1 タテヨコ一列に1～6の数字が入る。
- 2 タテヨコ一列に同じ数字は入らない。
- 3 区切られた2×3のブロックにも同じ数字は入らない。

7月31日までに、はがきにA～Eのマスの合計となる答え

住所、氏名、年齢、感想を書き

〒519-4324 熊野市井戸町1150

熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」までお送りください。

		A			
	B	1		4	C
D		6	3	5	
3					
	3		6	E	
6	2		5		



熊野市の人口と高齢化率

世帯数 9,171世帯

人口 17,809人
(男8,187人／女9,622人)

65歳以上 7,312人
(男2,992人／女4,320人)

熊野市の高齢化率41.06%
(平成28年6月1日現在)

はじめじめした梅雨も終わり、大好きな夏がやってきました。今年の夏は何をしようかと、今からワクワクしています。お気づきの方もいらっしゃると思いますが、表紙は大又川の風景です。熊野市が誇るとっても素敵な清流！ハワイもいろいろ、やっぱり「大好き！くまの」です。これからもみんなで清流を大切にしたいですね。(おか)

あ と が き

前回のナンバープレイスの答えと当選者

◆答え 赤い数字の合計

6

当選者は次の方々です。

畑井 竹子 さま
上地 一恵 さま
三石 佳子 さま

4	2	3	1	6	5
6	1	5	4	3	2
5	3	6	2	1	4
1	4	2	3	5	6
2	6	1	5	4	3
3	5	4	6	2	1

※図書カードを贈呈させていただきます。